元気印の市民団体紹介

応援します市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

パフォーマンス集団「ザ・レインボーズ」

◆公演依頼・お問い合わせ
090-3594-7719（立石晴美）
harupom719@gmail.com

笑顔とパワーを届けたい！

全身タイツのコスチュームでパワフルなステージを披露してくれる「ザ・レインボーズ」のみなさん。その母体となったのは、丹木町のすみれ幼稚園のお母さんたちです。卒園の謝恩会で出し物をした後、「これで終わるのはもったいない！」という思いで有志が集まり、２００７年に「パフォーマンスママ　レインボーズ」が発足しました。その後、志を同じくする仲間が次々とメンバーに加わり、２０１４年に「パフォーマンス集団　ザ・レインボーズ」と改称しました。

主な活動は、保育園や幼稚園、児童館、福祉施設で行うオリジナル劇、南京玉すだれ、ダンス、紙芝居といったパフォーマンス公演で、学校の授業や行事などに参加したり、イベントに出演したりもしています。また、八王子の盛り上げ役も買って出ていて、八王子市のテーマソング「ぼくらの八王子」の普及活動、振付指導なども熱心に行っています。２０２０年４月には八王子ＦＭで「あかぞうの『飛び出せ！　レインボーズ♡』」という番組（毎週水曜日11時～）もスタートさせました。

▲公演後にハイ、チーズ

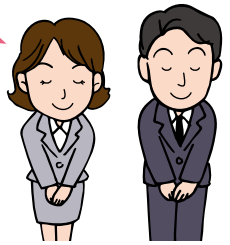
「子育てして、家事をして……と、普通に生活しているだけでは経験できないようなことができるんです」と語るのは、発足当初からかかわる代表のあかぞう（宮城あかし）さん。現在も30人ほどのメンバーが、たくさんの観客に向けて、笑顔とパワーを届けています。この思いがじわじわと広まり、結成10周年の２０１７年にいちょうホールで開かれた特別記念公演では、１７２団体の協賛もあって前売りだけで会場が満席となりました。

メンバー間には「レインボーズには失敗がない」という名言があるそうです。失敗を恐れず、何より自分たちが楽しいことをする。その真っ直ぐな姿が観客に伝わり、多くの人をいつも笑顔にしているのでしょう。

はちとぴサポーターの会　会計報告

131,480円（2019年12月11日～2020年12月10日）

心よりお礼申し上げます。
引き続きよろしくお願いします。



はちとぴ32号にて「はちとぴサポーターの会」を立ち上げ、読者の皆さまに広くご寄付をお願いしました。その結果、非常に多くの方々より温かいご支援を賜りました。厚く御礼申し上げますとともに、上記の通り会計報告いたします。賜りました浄財をもとに今後とも魅力的な誌面づくりに努めます。

振込先　【はちとぴサポーターの会】
ゆうちょ銀行　口座番号 00110-4-0514170
※お問い合わせは【揺籃社→☎042-620-2615】

一口 1,000円
随時受付

※年１回、誌上にて会計報告します
※収集した個人情報は無断使用いたしません

はちとぴサポーター特典！ ご寄付いただいた方には自宅まで郵送します

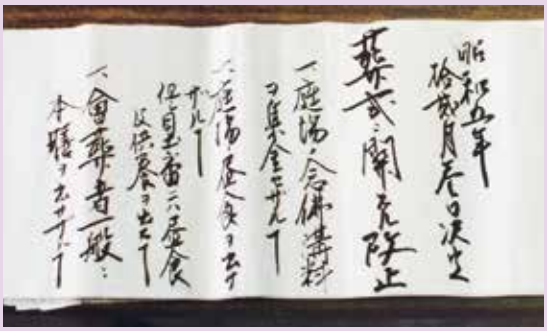
八王子の民俗誌 13

八王子地域社会研究会 代表　佐藤　広

村組 ── コミュニティの原点

村組（むらくみ）を部落と言い、日本文化の原点と考えたのが、パリ大学で社会学や人類学を学んだ〝きだみのる〟である。恩方をフィールドとした彼の『にっぽん部落』（岩波新書）は代表的著作で、ぜひお読みいただきたい。

村組とは、戦国時代末から江戸時代初めに内発的に組織された田畑や山林での生産と、生死にかかわる冠婚葬祭などの互助を含む生活のための自治的協同組織である。江戸時代には複数の村組が統合されて、村（例・留所村や戸吹村など）となる。1889（明治22）年に誕生した行政村（例・加住村など）は、江戸時代の村を複数統合したものである。今日でも村組や江戸時代の村がベースとなって多くの町内会ができている。また、小正月の火祭りのセイノカミや獅子舞などの伝承基盤ともなっている。



▲葬式に関する取決めの部分（秋間健郎氏提供）

村組の呼び方は、北関東の坪、南関東の庭・庭場・谷戸・里・講中、中部地方の耕地・小路、近畿地方の垣内（こ）、中国・四国の土居・傍示、北九州の空閑（が）、九州地方の門・方切、沖縄本島北部のバーリ、沖縄本島南部のダカリなど多様である。呼称こそ違うが、全国的に同様な組織が存在していた。

多摩地域では西多摩の庭場、北多摩の丁場・サシバ、南多摩の講中が知られている。八王子市域では念仏講などの信仰の講がもとの講中という呼称が一般的である。しかし詳細にみると、加住・元八王子には庭場という言い方があった。高月町滝の澤井栄さんの研究によれば、滝では明治の記録に庭場とあり、聞き書きでは講中と言っているという。古くは庭場が用いられていたことになる。秋間健郎氏からご教示いただいた下恩方町上宿の1930（昭和5）年の「葬式に関する改正」（写真参照）に、庭場と書かれているのに最近気付いた。八王子市北西部のかなり広い地域で、村組を庭場と呼んでいた可能性がある。

共同体を重視する私たちの考え方の根元は、制度的につくられた村ではなく、小さな自治的共同体である村組の中で育まれたものである。そうした村組のなかで、子ども時代を過ごした人々が少数となりつつある。都市ではなく、農山村で生まれ育った方は、無意識に過ごされてきていると思うが、この小文で何か気づかれたら私はとても嬉しい。

八王子の原風景 13

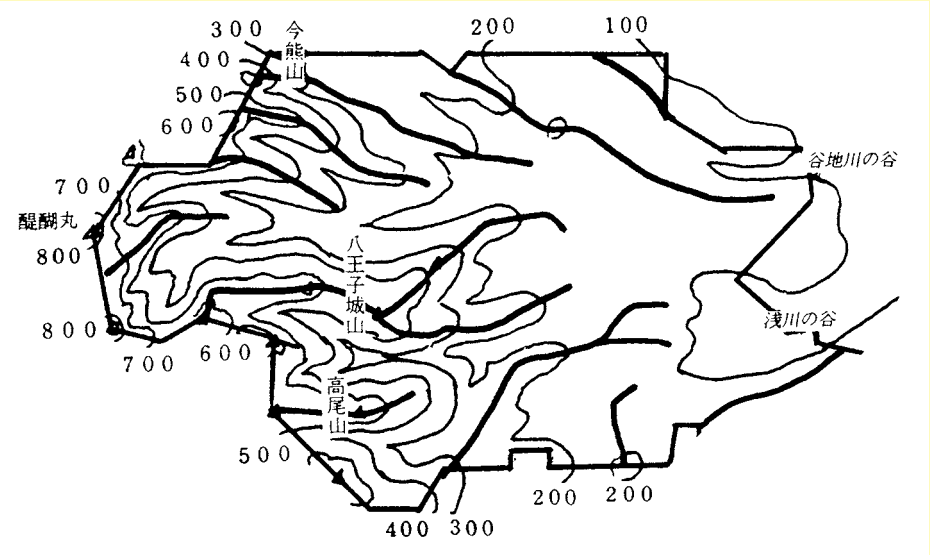
元・八王子市市史編さん研究協力員　馬場喜信

八王子の地形　再見

これから散策に出かけようとするとき、「流域」という言葉がその日に歩くルートをきめる目安になる。2万5000分の1地形図を広げ、まだ赤鉛筆で線をつけていない川筋を見つけると嬉しい。そこはまだ足を踏み入れたことがないはずだから。とっくにそんなところはないよという、市域はすべて踏破済みという方も多いだろう。地形図は、そのための貴重な記録帳だ。帰宅したらその日のうちに歩いた道筋に朱線を入れておこう。後日に延ばすとどこをどう辿ってきたか、思いのほか記憶があいまいになっていたりするから。

歩き出したその日。手に広げた地形図に赤線のない川筋があれば、その川沿いを歩こうという気になる。赤線が付してあっても記憶を辿りながらの再訪へと誘われる。地図に書き入れた朱線は貴重である。

これまで、わたしたちの八王子を「流域都市」としてとらえて、地形図を広げては市域の囲む地形の表現に目を凝らし、その魅力に惹かれてきた。付図は、地形図をもとに粗い等高線と100mごとの等高線を描き、市域の地形の概要を示したもの。西方に高まる山稜と南北を囲む丘陵、東方の低地へと谷が開け、川の流れが広がってゆく。私たちが日ごろ見慣れてきた風景を天空から捉えた、これが骨格である。連載初回（本誌35号）の付図ともかさねて参照されたい。



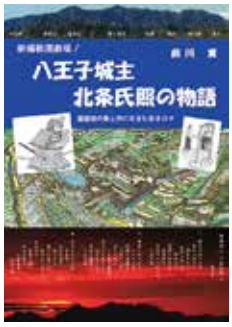
▲八王子市域の地形のあらまし

私の本はこうして生まれた

其の四十七

『大久保長安　家康を創った男！』　山岩 淳　著

大久保長安の名は、八王子ではあまり知られていませんでした。今に至る八王子の町づくりに大変に貢献した人物なのですが……。浅川の改修工事、商業都市としての空間的配慮、甲州街道や一里塚の整備、高尾山の竹木伐採禁止のお触れ、千人同心の組織化、信松尼（松姫）の庇護など、八王子における事蹟は枚挙にいとまがありません。本書には、長安の八王子での業績がコンパクトにまとめられています。巻末の私見解説も嬉しい、大久保長安入門編です。



◀山岩さんが編集を担当した『八王子城主北条氏照の物語』

▶山岩さんの前著『乱世！　八王子城』

八王子といえば高尾山が有名ですが、高尾山の他にもいろいろあるよと伝えたくて、4年前に八王子城を紹介した小説『乱世！　八王子城』を出版。その後、史実を八王子城の研究者前川實氏に確認してもらった縁で、氏の『八王子城主北条氏照の物語』の編集を支援し、氏照研究の集大成版を世に送り出せました（いずれも揺籃社刊）。そのときに町田の小野神社の宮鐘がまわりまわって八王子城の戦いで使われ、徳川家康が縁起のいい陣鐘だと館町の高山城まで見に来たという伝説があることを知りました。

さて、八王子城落城後の八王子について調べていたら、大久保長安という人物が八王子を拠点に関東一円の総代官として活躍していたと知りました。長安は八王子の今に残る街並みの整備や浅川の治水工事にも着手。日本国中の銀山金山を開発し、代表的街道を整備するなど、徳川幕府の財政基盤を作りました。

これは面白いと思い、八王子を紹介する小説の第2弾として『大久保長安　家康を創った男！』を書くことにしました。家康が八王子へやってきたという伝承を書き出しに使っています。

鐘の由来については諸説あるようです。また、家康が来たという高山城が本当に館町にあったのかどうか、そもそも高山城自体が存在していたのかと疑問視する向きもあるかと思います。でも、いろいろな説があっていいと私は思っています。史実かどうかは後世の人が判断すればよいわけですから。

長安に関する文献はあまりないのですが、松本清張はじめ多くの有名な小説家が、この謎多き人物を題材にしています。ある人は善人として、ある人は悪人として。私はこの八王子で活躍した人物なので、できるだけ善人として描きました。巻末の解説では、死後に断罪された件にも触れて、いろいろな説があることを紹介しています。

他の作家の作品には八王子での活躍があまり載っていないので、本書では地元八王子の人に広く知ってもらいたいと思い、具体的な地名、寺名などをできるだけ載せてあります。小説というよりは入門ガイドブックと思って読んでいただいた方がいいかもしれません。

（著者記）

『大久保長安　家康を創った男！』
定価1000円＋税　揺籃社刊
B6判・112P
※本書をお求めの際は、お近くの書店か当誌編集部までどうぞ。

BOOK REVIEW ―八王子の自費出版本を紹介―

※このコーナーで紹介する自費出版本を募集しています。紹介してほしい本がありましたら、ご一報を。

不知火海民衆史
上・論説篇　下・聞き書き篇

色川大吉・著

★揺籃社・発行　㊤2400円　㊦2600円＋税

★A5判・㊤310ページ　㊦362ページ

※本書をお求めの際は、お近くの書店でご注文いただくか、当誌編集部までお問い合わせください。

石牟礼道子さんの懇望を受けて、「不知火海総合学術調査団」を結成した著者。1976年春以降、10年の長きにわたり、各界の第一人者である研究者たちが不定期で水俣を訪れ、水俣病の実態を調査しました。著者は民衆史の掘り起こしをメインとされ、地元の古老や語り部を何度となく訪問して聞き取りを行い、調査結果を大学の紀要や学会誌などに発表していきました。それらのうち、いまでは入手困難な論考を集成したものが本書。40年以上の月日を経ても古びない情熱を帯びた論考に、混沌とした21世紀の地平から学ぶべき点は非常に多くあります。

はなしのこばこ
第一集　第二集

大関　兌（とおる）・著

★揺籃社・発行　頒価2冊で1600円（分売不可）

★A5判・①244ページ　②256ページ

※本書は私家版です。詳細は当誌編集部まで。著者をご紹介します。

2冊同時刊行の童話集。創作のお仲間と励まし合いながら作り続けてきた作品、33篇がまとめられています。副題は、第一集が「夢を盗む」、第二集が「あしたはみんなよくなるさ」。登場するのは、貧乏神、鬼、ヘビ、ゴキブリなどなど。普通だったら忌み嫌われがちな存在に光を当てていく大関さんのまなざしは、柔らかく、温かく、滋愛に溢れています。彼らが活躍して誰かを助けたり、福をもたらしたりする様子はとってもユーモラス。誰しも存在意義があると教えてくれます。子どもたちの演劇の台本としても活用できそうな童話集の誕生です。

次号予告

わがまち八王子探訪シリーズ「由木」（仮）

次号は八王子の東端、由木地域を特集します。多摩ニュータウン開発を中心に近年大きく変貌し、大規模な商業施設や大学などが建ち並んでいます。その一方で、昔ながらの建物や伝承も意外と残っているんです。懐かしい風景にも触れつつ、由木地域の「いま」を紹介します。情報募集中！

第48号（涼風号）は
5月1日発行予定

広告募集中！

「はちとぴ47号」は9,000部を発行、右記の場所にて配布いたします。八王子市民にアピールしたい商品やサービスの広告にピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中！

お客さんとのコミュニケーションツールにしたり、待ち時間の合間に雑誌感覚で読んでもらったりと、利用方法はさまざま。「はちとぴ」を新サービスとしてご活用ください。

お問い合わせはこちら

揺籃社（清水工房内）
はちとぴ編集部

TEL（620）2615
FAX（620）2616
E-mail info@simizukobo.com

「はちとぴ」の置いてあるところ

公共施設

八王子観光コンベンション協会
八王子商工会議所
八王子市郷土資料館
八王子市中央図書館
八王子市川口図書館
八王子市南大沢図書館
八王子市生涯学習センター図書館
八王子市絹の道資料館
八王子市役所産業振興部
八王子市役所スポーツ振興課
道の駅「八王子滝山」
サイエンスドーム八王子
八王子クリエイトホール
八王子市学園都市センター
八王子市市民活動支援センター
八王子市子ども家庭支援センター
八王子市芸術文化会館いちょうホール
八王子市教育センター
八王子市南大沢事務所
八王子市南大沢文化会館
八王子セミナーハウス
長池公園自然館
高尾山599ミュージアム
夕やけ小やけふれあいの里
市内各市民センター　等

お店・企業・学校

アート八王子
アクサ生命
㈲赤坂商店
御菓子司　旭苑
吾妻寿し
アメニティーライフ八王子
㈲荒物加島屋
小俣ダンススタジオ
café de la poste
cafe rin
金子商店
ギャラリー・スペースことのは
京晴㈱
くまざわ書店
くまざわ書店西八王子店
㈱クラブS保険サービス
グループホームびおら
桑の実幼稚園
敬愛保育園
啓文堂高尾店
工学院大学
小谷野紙店
㈲埼玉屋本店
和食　坂福
坂本クリニック・坂本医院
ＪＡ八王子ふれあい市場
シミズパーク24
東京都立大学
スマイルこどもクリニック
㈱スリーボンド
せいがの森保育園
セブンイレブン八王子北口店
創価大学
高尾の森わくわくビレッジ
拓殖大学
そば・うどん　玉川亭
たましん散田店
多摩美術大学
中央大学
東京家政学院大学
東京工科大学
東京工業高等専門学校
東京純心大学
東京造形大学
東京薬科大学
とみりえ
中野屋商店
㈲中村自動車
㈱日住
ハーモニーネット
はちねこ！カフェ
八王子エルシィ
八王子学園八王子高等学校
八王子自動車学校
八王子市役所売店「はっち」
八王子消化器病院
㈱富士屋
ふもとや
Coffee Bricks
ベネック
法政大学
まつおか書房
松姫本店
㈲峰尾豆腐店
みやま大樹の苑
山梨中央銀行八王子支店
㈱山六
有隣堂CELEO八王子店　等

その他団体など

サイバーシルクロード八王子
八王子法人会
八王子市医師会
八王子市職員等事業本部
八王子自治研究センター
八王子センター元気
八王子いちょう祭り祭典委員会
墨のアトリエ墨童舎
はちとぴサポーターの会　等

はちとぴ イベントカレンダー <1月～4月>

情報募集中

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更される場合があります。参加を予定されている方は事前にお問い合わせ先へご確認ください。

10/24(土)～3/31(水)
市民とともに53年
―郷土資料館との思い出リクエスト展―

「八王子駅南口集いの拠点」への移転を予定している郷土資料館。移転にあたって市民からリクエストのあった資料や郷土資料館との思い出などを展示します。

会場：八王子市郷土資料館
時間：9:00～17:00　入館無料
問 八王子市郷土資料館
☎(622)8939

2/11(木・祝)～3/28(日)
土門拳×藤森武写真展
みちのくの仏像

風雪に耐え、みちのくの人々に受け継がれたいのりのかたち、東北六県の仏像写真を撮り続けてきた藤森武の作品を中心に、師である土門拳の作品とあわせて紹介します。

会場：八王子市夢美術館　時間：10:00～19:00(月曜休館)
料金：一般600円、小学生・65歳以上300円、未就学児無料
問 八王子市夢美術館
☎(621) 6777

3/10(水)～3/14(日)
第４回　魅せる八王子展

八王子の街並みやお寺などをテーマに、写真を使って描いた絵をご覧ください。展示を見て、あなたも描いてみませんか？　写実を学んだ成果をご覧ください。会場でお待ちしております。

会場：八王子市中央図書館(地下展示室)
時間：10:00～17:00(最終日は16:00まで)　入場無料
問 「ティファレト・美」絵画クラブ
☎(691)9624(金子)

3/10(水)～3/14(日)
「高尾山の花と戦国時代」写真展

『高尾山の花名さがし』出版から12年、『大久保長安　家康を創った男！』出版を記念して、八王子城、大久保長安関係の写真を展示します。戦国時代にタイムスリップしてみませんか！

会場：八王子市中央図書館(地下展示室)
時間：10:00～17:00(最終日は16:00まで)　入場無料
問 高尾山の花名さがし隊
☎090(6042)6263(遠藤)

在庫ゼロで気楽につくれる
出版方法"アマゾンPOD"を
ご存知ですか!?

アマゾンPOD（プリント・オン・デマンド）とは、アマゾンに本のデータを預けておいて、注文が入った段階でアマゾンが印刷・製本し、お客さまにお届けする画期的な出版システムです。

- 完全受注生産のため低コスト
- 注文からお届けまでスムースに
- 在庫リスクが全く生じない
- 部数を気にせず気軽に出版

PODの
詳細はこちら

自費出版

編集から販売までお手伝いします

自分史・エッセイ・紀行文・小説・研究書・郷土史・地域史・詩集・句集・歌集・画集・写真集・遺稿集・追悼集・同人誌・記念誌・社史・絵本・コミック・ガイドマップ　など

電子書籍もできます!!

NPO日本自費出版ネットワーク加盟　取次店：㈱トーハン、㈱地方小
(自費出版ガイドライン遵守事業者認定第１号)

あなたの思いをかたちに
自費出版アドバイザー

株式会社 清水工房
https://www.simizukobo.com/
〒192-0056　東京都八王子市追分町10-4-101
TEL. 042-620-2626　FAX. 042-620-2616
出版事業部 揺籃社

歴史を刻む技と知恵

開催決定

匠の世界を探る

宮大工吉川棟梁仕事展

2017年開催の「八王子の宮大工小町家と番匠～小町和義の仕事展～」に続き、2021年に八王子の宮大工、吉川棟梁の研鑽と実績を辿る、新たな展示会を開催します。地域社会にとってかけがえのない歴史文化を連綿と継承する「匠の世界」をさまざまな角度から探ります。

2021年6月11日(金)～14日(月)
10：00～20：00（最終日は16：00まで）

学園都市センターギャラリーホール
※入場無料

主催 ▶「宮大工吉川棟梁仕事展」実行委員会

お問い合わせ　TEL 626-7714（八王子自治研究センター）

没後400年

大久保長安（おおくぼながやす）

大久保長安とは…

戦国時代の終わりに八王子のまちをつくり、関ヶ原後は全国各地で金山銀山を開発、現在の八王子市小門町に陣屋を構えて浅川の治水対策などに着手した、天下の総代官です。徳川家康に天下を取らせ、その治世を支えたともいわれています。2013年は没後400年でした。

八王子のまちづくりに大いに貢献した長安を顕彰し、後世に伝えていこうと、市民有志による「大久保長安の会」が結成されました。これまでに、「大久保長安400年記念シンポジウム」や「400年記念講演会」、市内のゆかりの地を巡る「まち歩き」、長安を活かしたまちづくりを学生たちと考える「ワークショップ」などを開催してきました。
今後も随時、大久保長安に関連したイベントを行っていく予定です。ぜひご参加いただき、長安を通じてふるさと八王子をもっともっと好きになっていただければと思います。

大久保長安の会

〒192-0082　八王子市東町13-6　大久保長安の会 事務局
Tel：090-1656-6800（おまた）　Mail：tk-shoes@vega.ocn.ne.jp
HP：http://ookubo-nagayasu.com/

広告募集

はちとぴでは協賛広告をお願いいただける市内でご活躍の企業・お店を募集しております。ぜひご協力をお願い申し上げます。

	1頁	1/2頁	1/4頁
16ページ（裏表紙外）	120,000円	60,000円	30,000円
14ページ 15ページ（裏表紙内）	100,000円	50,000円	25,000円

掲載スペースは申し込み順といたしますので、大枠をご希望のお客様は、お早めにお申し付けください。

本誌は、お客様発行のフリーペーパーとしてご利用いただけるシステムを考えております。ご相談をお待ちしています。

お問い合わせ先　揺籃社 TEL.042-620-2615

毎月 2回 金曜日仕上げ

カラーハガキ

データ作成から印刷まで　小部数にも対応！

お店のご案内やDM
オリジナルポストカード
絵画展・写真展などの案内

まずは電話でご相談を！！

詳細は　清水工房　カラーハガキ　検索

お問い合わせ　株式会社 清水工房 TEL.042-620-2626

はちとび 新風号 No.47 2021.1.1 発行
★『はちとび』は八王子の気になるトピックスをお届けするミニ地域情報誌（年3回）です。八王子の情報をお寄せください。提携店、協賛広告も募集中。無断転載禁止。
発行 ● 揺籃社（清水工房内） 〒192-0056 東京都八王子市追分町10-4-101 TEL. 042-620-2615 FAX. 042-620-2616 URL. https://www.simizukobo.com/

2021年初夏開催予定

八王子の戦跡見て歩きツアー

2020年、戦後75年の節目の年に、揺籃社では八王子市内に数多く残されている戦跡を網羅的に紹介する『ガイドブック　八王子の戦跡』を刊行しました。このたび、本書を監修した齊藤勉氏をガイドに迎え、八王子市内の戦跡を巡る見学会を企画しました。市内の戦跡について、より深く学んでみませんか。ツアーの詳細は次号「はちとび」に掲載します。

八王子市慰霊塔

コース案（訪れる戦跡は未定です）

❶富士森公園コース
八王子市慰霊塔（富士森公園）、戦災死没者の墓（市営緑町霊園）……

❷甲州街道コース
大和田橋、八日町交差点、荒物加島屋、追分道標、イチョウ並木……

❸浅川地下壕見学会

イチョウ並木

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容の変更や中止の可能性があります。

ガイドブック 八王子の戦跡

齊藤勉・井上健 監修／揺籃社 編

B5判、112ページ、フルカラー
定価1200円＋税

好評発売中

揺籃社（ようらんしゃ）
〒192-0056　東京都八王子市追分町10-4-101（㈱清水工房内）
TEL 042-620-2615　FAX 042-620-2616

高尾山はこの2冊におまかせ！

高尾山の花名さがし

・月別分類で花名すぐ分かる
・書籍名と同じホームページあり

952円＋税
揺籃社

高尾山おもしろ百科

・高尾山にスキー場があった
・日本中に高尾山が40以上ある
＊おもしろい事満載

952円＋税
揺籃社

ホトケノザ

好評発売中
・八王子市内の書店
・高尾山口の観光案内所
・道の駅「八王子滝山」
・アマゾン

高尾山の花名さがし隊
s_endo8@yahoo. co. jp
連絡先 090-6042-6263（遠藤）